
全国高等専門学校

第30回プログラミングコンテスト

本選実施要項(参加要項)

この要項は、本選実施に関する重要なものです。本選に出席される関係者に至急お渡しください。

課題部門・自由部門・競技部門については8月30日(金)締切及び9月25日(水)締切で提出いただきました書類等がありますので、内容のすべてに必ず目を通してください。

また、本選時にはこの資料を必ずお持ちください。

全国高等専門学校 第30回プログラミングコンテスト委員会

全国高等専門学校 第30回プログラミングコンテスト
本選実施要項(参加要項)

1. 大会全般についての連絡事項(各部門共通)	1
1.1 主催・共催・後援・協賛・役員	1
1.2 参加者	2
1.3 審査委員	2
1.4 会場案内	3
1.5 日程	4
1.6 提出書類等	5
[1] 8月30日(金)締切分	5
[2] 9月25日(水)締切分	6
1.7 知的財産権の侵害について	7
1.8 著作物等の扱いについて	7
1.9 表彰について	8
1.10 宿泊・昼食・情報交換会及び会場への交通	8
1.11 学生交流企画について	9
1.12 会場使用上の注意点について	9
1.13 その他の注意事項	9
1.14 問い合わせ先	9
2. 課題・自由部門についての連絡事項	10
2.1 システムの搬入・搬出について	10
2.2 プレゼンテーションについて	10
2.3 デモンストレーションについて	11
2.4 本選審査手順について	13
3. 競技部門についての連絡事項	14
3.1 組み合わせ	14
3.2 競技進行の概要	14
3.3 競技部門の賞	14
3.4 予行演習	14
3.5 機材の搬送について	14
3.6 注意事項	15

付録1 会場案内図

付録2 交通案内

付録3 課題部門 プレゼンテーション審査タイムテーブル

付録4 自由部門 プレゼンテーション審査タイムテーブル

付録5 ブースの配置と展示スペースの概略寸法

付録6 デモンストレーション審査, マニュアル審査のタイムテーブル

付録7 競技組み合わせ

別紙資料1 課題・自由・競技部門 同意書

別紙資料2 課題・自由部門 パンフレット執筆要項

別紙資料3 課題・自由部門 プログラムソースリスト表紙例

別紙資料4 課題・自由部門 操作マニュアル表紙例

別紙資料5 課題・自由部門 チェックリスト

別紙資料6 競技部門 パンフレット執筆要項

別紙資料7 競技部門 プログラムソースリスト表紙例

別紙資料8 競技部門 システム詳細説明書

別紙資料9 競技部門 チェックリスト

別紙資料10 第3回名刺クエスト実施のご案内

1. 大会全般についての連絡事項(各部門共通)

1.1 主催・共催・後援・協賛・役員

主 催 一般社団法人 全国高等専門学校連合会

共 催 特定非営利活動法人 高専プロコン交流育成協会(NAPROCK)

後 援 文部科学省, 総務省, 経済産業省, 警察庁, 宮崎県, 宮崎県教育委員会, 都城市, 三股町, 新富町, 都城市教育委員会, 都城商工会議所, 一般社団法人宮崎県工業会, 一般社団法人霧島工業クラブ, 一般社団法人コンピュータソフトウェア協会, 一般社団法人情報処理学会, 一般社団法人電子情報通信学会, 一般社団法人教育システム情報学会, 一般財団法人こゆ地域づくり推進機構, 国立研究開発法人情報通信研究機構, 特定非営利活動法人みやざき技術士の会, 一般社団法人オープン&ビッグデータ活用・地方創生推進機構, 株式会社BCN, NHK, MRT 宮崎放送, UMK テレビ宮崎, 宮崎日日新聞社, 朝日新聞社, 読売新聞社, 毎日新聞社, 日刊工業新聞社, 都城工業高等専門学校後援会, 都城工業高等専門学校同窓会「深山会」

産学連携協賛
(8社) チームラボ(株), (株)セゾン情報システムズ, (株)日立製作所, (株)フォーラムエイト, アバナード(株), (株)NSD, KDDI(株), (株)ラック

特別協賛
(21社) 東芝 IT サービス(株), さくらインターネット(株), 富士通(株), (株)トヨタシステムズ, (株)インテリジェント ウェイブ, ネクストウェア(株), (株)ブロードリーフ, (株)シーエーシー, (株)FIXER, (株)Blueship, アドバンスドプランニング(株), ナレッジスイート(株), ドコモ・システムズ(株), アスクル(株), ピクシブ(株), (株)マネーフォワード, (株)バンダイナムコスタジオ, (株)ネオジャパン, (株)アイ・エス・ビー, 富士通クラウドテクノロジーズ(株), NTTデータシステム技術(株)

一般協賛
(31社) (同)DMM.com, セイコーエプソン(株), アイフォーコム(株), (株)ワコム, ソニーデジタルネットワークアプリケーションズ(株), (株)ルクレ, 富士ソフト(株), Yahoo(株), (株)フィックスターズ, (株)Preferred Networks, アイ・システム(株), エヌ・ティ・ティ エムイー(株), メディア総研(株), オープンテクノロジー(株), (株)jig.jp, TDCソフト(株), (株)アカツキ, (株)タブチ, (株)メンバーズ, (株)インフォコム西日本, 日本ビジネスシステムズ(株), (株)クレスコ, (株)OEC, 三和工機(株), ユカイ工学(株), (株)TwoGate, アクセンチュア(株), (株)システムインテグレータ, (株)CRI・ミドルウェア, (株)ワイズ, (株)網屋

大会役員

大会会長 一般社団法人 全国高等専門学校連合会会長
 但野 茂 (函館工業高等専門学校長)

副会長 一般社団法人 全国高等専門学校連合会副会長
 東 健司 (大阪府立大学工業高等専門学校長)

副会長 一般社団法人 全国高等専門学校連合会副会長
 小島 知博 (サレジオ工業高等専門学校長)

副会長 一般社団法人 全国高等専門学校連合会副会長
 後藤 景子 (奈良工業高等専門学校長)

副会長 特定非営利活動法人 高専プロコン交流育成協会理事長
 堀内 征治 (長野工業高等専門学校名誉教授)

副会長 第31回大会主管校校長
黒川 一哉 (苫小牧工業高等専門学校長)
副会長 第30回大会主管校校長
岩佐 健司 (都城工業高等専門学校長)

1.2 参加者

予選において全国高専から選抜された作品の制作学生及び指導教員

- | | |
|----------|--------|
| (1) 課題部門 | 20 チーム |
| (2) 自由部門 | 20 チーム |
| (3) 競技部門 | 57 チーム |

1.3 審査委員

審査委員長

神沼 靖子 一般社団法人 情報処理学会 フェロー

審査委員

有馬 三郎 (株) セゾン情報システムズ テクノベーションセンター長
伊藤 翼 (株) FIXER グループリーダー
臼井 支朗 豊橋技術科学大学 名誉教授
内山 陽介 アスクル (株) チーフ・テクノロジー・オフィサー
梅村 恭司 豊橋技術科学大学 情報・知能工学系 教授
及川 光隆 (株) Blueship IT サービス統括部 部長代理
大岩 元 慶應義塾大学 名誉教授
大場みち子 公立ほこだて未来大学 システム情報科学部 教授
加辺 徹 (株) アイ・エス・ビー 管理本部 人事部 シニアマネジャー
九野 伸 (株) 日立製作所 セキュリティ事業統括本部 統括本部長
後藤 泰佐 (株) インテリジェント ウェイブ 取締役
齋藤 晶議 (株) ネオジャパン 代表取締役社長
五月女雄一 富士通クラウドテクノロジーズ (株) プリンシパルエンジニア
笹岡賢二郎 一般社団法人 コンピュータソフトウェア協会 専務理事
島村 博幸 NTT データシステム技術 (株) 金融システム事業部 事業部長
杉田 泰則 長岡技術科学大学 電気電子情報工学専攻 准教授
鈴木 淳一 アバナード (株) アプリケーション&インフラストラクチャマーケットユニット シニアディレクター
高 康英 (株) トヨタシステムズ 生技・製造プロセス改革部 部長
谷口雄一郎 (株) ブロードリーフ 開発本部 基盤開発部 棟梁
鳥居 宏行 NHK放送センター 放送技術局 メディア技術センター クロスメディア部部長
中出 匠哉 (株) マネーフォワード 取締役執行役員 CTO
林 直樹 富士通 (株) 文教・地域ソリューション事業本部 本部長代理
又江原恭彦 (株) ラック 執行役員 新規事業開発部長
松澤 照男 北陸先端科学技術大学院大学 名誉教授
松野 茂樹 KDDI (株) 理事 経営戦略本部 副本部長
道井 俊介 ピクシブ (株) 技術開発本部 配信技術部 マネージャー
宮地 力 東京大学大学院情報理工学系研究科創造情報学専攻石川・妹尾研究室特任研究員
山口 邦雄 (株) バンダイナムコスタジオ コアテクノロジー3課 課長
山下 径彦 (株) シーエーシー デジタルソリューションビジネスユニット デジタルITプロダクト部長
吉田 育代 フリーランスライター
鷺北 賢 さくらインターネット(株) さくらインターネット研究所所長
渡邊 博和 ネクストウェア (株) 財務本部長

[マニュアル審査]

久保 慎一 ネクストウェア (株)

津曲 潮 (株) デザイン・クリエイション 顧問

(五十音順 敬称略)

1.4 会場案内

本選会場の主な施設名及び使用目的をお知らせします。

詳細な会場案内については付録1の会場案内図またはプロコン公式サイトをご覧ください。

1. 開会式・閉会式会場	大ホール
2. 課題部門プレゼン会場	大ホール
3. 自由部門プレゼン会場	創作練習棟 1階 会議室 1
4. 課題・自由部門デモ会場	大ホールホワイトエ・中ホールホワイトエ
5. 競技部門会場	中ホール
6. プロコン委員控室	1階 楽屋・スタッフルーム
7. 審査委員室 (審査室)	2階 大楽屋
8. 表彰準備室	2階 中楽屋 5・中楽屋 6
9. 課題・自由部門審査員休憩室	2階 大楽屋
10. 競技部門関係者控室	1階 中楽屋 4
11. 競技部門参加学生控え席	中ホール舞台袖
12. 競技部門準備教職員控室 (主管校)	1階 楽屋事務室
13. 参加学生荷物置場	大ホール
14. 主管校大会本部	1階 エントランスホール
15. 報道関係者控室	2階 主催者事務室
16. 校長・来賓控室	1階 中楽屋 5
17. 文科省来賓控室	1階 小楽屋 2
18. 主管校教職員控室	創作練習棟 1階 ワークルーム
19. 協賛企業控室	1階 中楽屋 1・中楽屋 2
20. 協賛企業展示	2階 共通ロビー
21. 主管校展示	アートモール
22. 主管校企画	1階 共通ロビー
23. 学生交流会	大ホール(1日目 17:00)
24. 総合受付	1階 エントランスホール
25. 昼食配布場所	2階 共通ロビー
26. 救護室	創作練習棟 1階 練習室 1
27. デモ用梱包物置き場	(搬入) 創作練習棟 2階 和室 (搬出) 創作練習棟 1階 会議室 1

1.5 日程

10月12日(土) 参加者受付

17:00～18:30 MJホール エントランスホールで受付を行います。

(受付場所は、「付録1 会場案内図」をご覧ください。)

※ 各チームの引率教員および代表学生1名が受付し、名札、配付資料を受領してください。

10月13日(日)

- やむを得ず当日受付を希望するチームは、全国高専第30回プロコン委員会事務局(「1.14 問い合わせ先」参照)に10月9日(水)10時までにご連絡ください。

	課題・自由部門	競技部門
8:00	(開場予定時刻：8:00)	
9:00	8:30 ～ 8:50 参加者連絡会議 (大ホール) 8:50 ～ 9:20 システム搬入チェック	8:30 ～ 8:50 参加者連絡会議 (中ホール)
	9:30～10:00 開会式 (大ホール)	
10:00	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 10:10 ～ 16:50 プレゼンテーション審査 (課題部門: 大ホール) (自由部門: 創作練習棟 会議室1) </div>	10:10 ～ 11:30 予行演習 (中ホール)
11:00		
12:00	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 10:10 ～ 10:40 システムセッティング (大ホール・中ホールホワイエ) </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 10:40 ～ 16:50 デモンストレーション 一般公開 (大ホール・中ホールホワイエ) </div>	
13:00		
14:00		12:30 ～ 16:50 ファーストステージ (中ホール)
15:00		
16:00		
17:00	17:00 ～ 18:30 学生交流会(大ホール)	
18:00	18:00 ～ 20:30 情報交換会(ホテル中山荘)	

10月14日(月・祝)

	課題・自由部門	競技部門
8:00	(開場予定時刻：8:00)	
	8:05～8:15 参加者連絡会議(大ホール)	8:05～8:20 参加者連絡会議 (中ホール)
9:00	8:15～8:45 システムセッティング	
10:00	8:45～12:00 デモンストレーション審査	8:30～14:00 敗者復活戦
11:00	マニュアル審査	セカンドステージ・ファイナルステージ (中ホール)
12:00	9:00～14:00 デモンストレーション 一般公開 (大ホール・中ホールホワイエ)	
13:00		
14:00	14:00～14:30 システム梱包・業者引き渡し	
	14:00～14:30 学生・企業交流会(名刺クエスト)	
	14:30～15:30 特別講演	
15:00		
16:00	15:30～17:00 閉会式	

1.6 提出書類等

[1] 8月30日(金)締切分

予選後にご案内しましたとおり、次の2種類の書類を、令和元年8月23日(金)から8月30日(金)までの期間に、proconapp.com から提出してください。各書類の提出に当たっては、チェックリストにより内容を確認し、不備のないようにしてください。

(1) パンフレット原稿

課題・自由部門の本選出場チームについては、本選時に配付するパンフレットの中に、発表要旨を掲載いたします。また、競技部門の本選出場チームは、同パンフレットの中にシステム概要を掲載いたします。公式サイトに掲載されている本選概要の執筆要項及び見本を参考に原稿執筆の上、課題・自由部門の本選出場チームは「発表要旨」を、競技部門の本選出場チームは「システム概要」をそれぞれ提出してください。図や写真については、カラーで印刷されますので効果的に使用してください。パンフレットの印刷の都合上、わずかの遅れも許されませんので、よろしく申し上げます。なお、PDFファイルのファイルサイズは100MB以内とします。

(2) システム等の調書

システム等の調書は proconapp.com の入力フォームに従って登録してください。特に、課題・自由部門の参加者は、会場の設営に必要な情報ですので、「ハードウェア構成」の欄に機種名・台数等をできるだけ詳しく記述してください。今大会ではデモンストレーション会場において、主催者側ではインターネット接続環境を準備しませんのでご注意ください。また、競技部門ではシステム等の調書に記載されていない機材は、競技部門会場への持ち込みを制限することもあります。詳細についてはプロコン公式サイトでお知らせします。

[2] 9月25日(水)締切分

予選後にご案内しましたとおり、次の資料を、令和元年9月18日(水)から9月25日(水)までの期間に、proconapp.com から提出してください。

規定外のものが提出されると失格となることがありますので十分に注意してください。また、締切後の書類の差替えなどは認めません。

【各部門共通】

(1) 著作物等の扱いに係わる同意書(各チーム1通)

- 「1.8 著作物等の扱いについて」に記載した内容(著作物等の利用に関する許諾)について、チームごとにPDF形式で提出してください。
- 同意書は、プロコン公式サイトからファイルをダウンロードしてご使用ください。
- 同意書には、登録されている指導教員及び学生全員が署名し提出してください。

(2) 緊急連絡先の登録

- proconapp.comの入力フォームに従って、引率教員と学生1名(代表学生)の連絡先(携帯電話の番号等)、宿泊先、宿泊日、補助学生も含めた総人数、借り上げバスの有無など(補助学生も含めた総人数、借り上げバスの有無についてはコメント欄に記述してください)をご登録ください。
- 登録された内容は第30回大会の緊急連絡にのみ使用し、大会終了後破棄します。

(3) チーム紹介動画の登録

- チームメンバーを紹介する15秒前後の動画提出をお願いします。全ての部門で音声有りの動画としますが、本番では音声流れないこともありますので、その点に留意して作成してください。
- 本動画ファイルは会場からのライブ配信等に使用するもので、審査結果には影響しません。各チームの特徴などをアピールしてください。
- 撮影後にPremiereやFinal Cut等で編集しても構いません。
- 時間を超過する場合や不適切な表現が含まれる場合等、再提出を依頼することがあります。
- 解像度は640×480ピクセル以上、1920×1080ピクセル以内とします。
- 動画コーデックはH.264ビデオかMPEG-4ビデオのいずれかとします。
- コンテナファイルの拡張子は*.m4v, *.mp4, *.mov, *.mpg, *.wmvのいずれかとします。
- ファイルサイズは100MB以内とします。
- 上記の要件を満たすファイルを作成し、OS付属のソフト(Windows 10なら「映画&テレビ」アプリ、Windows 7/8.1なら「Windows Media Player」アプリ、macOSなら「QuickTime Player」)で再生できることを確認のうえ提出してください。

【課題・自由部門】

(1) プログラムソースリスト

- A4用紙(縦置き横書き)とし、PDFに変換したもの、またはgithub.comのURLを提出してください。
- PDFで提出する場合はプロコン公式サイトから指定の表紙をダウンロードし、必ず付け、部門名、発表順番号、登録番号、タイトル、学校名、学生名、指導教員名を明記してください。
- GitHubで提出する場合で、Privateリポジトリでの提出を希望する場合は、プロコン審査委員がソースコードを閲覧できるように、下記のプロコン審査委員用アカウントをCollaboratorsとして登録し、その招待用URLをproconapp.comに登録してください。
プロコン審査委員用アカウント：proconShinsa
- 本選では、提出されたPDFファイルまたはGitHubのリポジトリを審査委員が直接閲覧しますので、体裁を整えてください。
- PDFファイルのファイルサイズは100MB以内とします。

(2) 操作マニュアル

- A4用紙(縦置き横書き)とし、PDFに変換したものを提出してください。
- 起動から終了までのすべての手順を、わかりやすく記述してください。
- 指定の表紙を必ず付け、部門名、発表順番号、登録番号、タイトル、学校名を明記してください。
- ページ番号をつけてください。
- 操作マニュアルは、表紙を含め12ページ以内で作成してください。
- 本選では、このマニュアルを見て、はじめてシステムに接する人が実際に操作します。
- PDFファイルのファイルサイズは100MB以内とします。

【競技部門】

(1) プログラムソースリスト

- A4用紙(縦置き横書き)とし、PDFに変換したもの、またはgithub.comのURLを提出してください。
- PDFファイルで提出する場合は指定の表紙を必ず付け、部門名、登録番号(300で始まる5桁の番号)、タイトル、学校名、学生名、指導教員名を明記してください。
- 本選では、提出されたPDFファイルまたはGitHubのリポジトリを審査委員が直接閲覧しますので、体裁を整えてください。
- PDFファイルのファイルサイズは100MB以内とします。

(2) システム詳細説明書

- システム詳細説明書は競技部門の審査に使用します。
- 様式に従いA4用紙1ページとし、PDFに変換したものを提出してください。
- プロコン公式サイトから所定の様式をダウンロードし、登録番号(300で始まる5桁の番号)、タイトル、高専名を記入してください。
- 問題解決へのアプローチ、システム構成、特徴などが審査委員にわかるように記述してください。
- PDFファイルのファイルサイズは100MB以内とします。

1.7 知的財産権の侵害について

作品の制作及び発表にあたっては、知的財産権の侵害のないように十分にご注意ください。従来
の例では、

- キャラクターの無断利用
- 音楽・映像の無断利用
- 文献等からの無断転載

などがありました。制作にあたる学生は、知的財産権についての理解が不十分なことも多いと思われ
ますので、指導教員はその点について十分にご指導くださいますようお願いいたします。

1.8 著作物等の扱いについて

提出していただいた資料、撮影した画像・映像等の著作物については以下のように扱いますので、あ
らかじめご了承ください。もし支障がある場合には、プロコン委員会事務局へご連絡ください。

- 応募時に提出していただいた書類(作品紹介、応募内容ファイル)、8月30日(金)締切で提出
していただくパンフレット原稿(発表要旨、システム概要)、9月25日(水)締切で提出して
いただく資料(ソースリスト、操作マニュアル、システム詳細説明書、チーム紹介動画)は、コンテ
スト終了後、プロコン公式サイト等で全部もしくは一部を公開する場合があります。
- 課題・自由部門のプレゼンテーション及びデモンストレーションをビデオ撮影します。撮影した
ビデオ及びプレゼンテーション用データを高専の教材として使用する場合があります。

- 本選期間中、コンテストの様態や参加チーム毎のスナップ写真を撮影します。これらの画像はプロコン公式サイト等で公開及びプロコンパンフレット等に掲載する場合があります。
- 本選の様態・結果をインターネット経由で公開する予定です。
- 例年通り、記録ビデオを撮影・編集し、DVD等で配付するとともにプロコン公式サイト等で公開します。
- 本選期間中に撮影された写真やビデオ類は、全国高等専門学校連合会や国立高等専門学校機構の広報活動に使用されることがあります。
- 競技アイデア募集企画に応募されたアイデアやシステムを競技部門で使用することがあります。また使用するにあたり、必要に応じて改変することがあります。

1.9 表彰について

閉会式では、表彰が行われます。表彰では以下の各賞が授与されます。

課題部門	自由部門	競技部門
最優秀賞 文部科学大臣賞 情報処理学会若手奨励賞	最優秀賞 文部科学大臣賞 情報処理学会若手奨励賞	優勝 文部科学大臣賞 情報処理学会若手奨励賞
優秀賞	優秀賞	準優勝
		第三位
特別賞	特別賞	特別賞
敢闘賞	敢闘賞	

- 課題・自由部門全チームの代表者及び競技部門入賞チームの各代表2名は、15時15分までに大ホール客席の指定座席に着席してください。
- 表彰の進行手順については閉会式の前に説明します。
- プロコンに多大な貢献をいただいている協賛企業から企業賞が贈呈されます。
- 課題・競技部門において上位チーム（各部門5チーム程度）はNAPROCK国際プロコンに日本代表として派遣されます。

1.10 宿泊・昼食・情報交換会及び会場への交通

宿泊についての申込み締切は、8月30日(金) 24時です。参加登録受付システム(<https://va.apollon.nta.co.jp/procon2019/>)にて申込みください。参加登録受付システムについては、予選後に送付した「参加登録・宿泊・お弁当・その他のご案内」に詳細な申込み方法が記載されておりますので、ご参照ください。なお、参加登録・昼食・情報交換会の事前申込みをしていないチームは速やかに登録してください。 昼食、宿泊等の申し込みが不要でも参加登録は必ず実施願います。

宿泊

学生及び引率教員の宿泊は都城市内のホテルを予定しています。

昼食

事前に予約された昼食は、学校毎に配付します。飲食は、隣接した公園に飲食できるテントを準備しますのでそちらでお願いします。なお、大ホール・中ホール・ホワイエ内での飲食は厳禁です。

情報交換会

10月13日(日)の18:00~20:30、「ホテル中山荘」(〒885-0077 宮崎県都城市松元町3街区20号)において情報交換会を開催します。参加費用は一人5,000円です。移動は、バスを利用する予定です。(シャトルバス代500円) 指導教員は、是非ご参加ください。

宿泊・昼食・情報交換会に関する問い合わせ先

日本旅行 西日本MICE(マイス)営業部

担当: 西住・東房

〒530-0001 大阪市北区梅田 1-11-4 大阪駅前第4ビル 5F

TEL: 06-6342-0230 FAX: 06-6342-0232 Email: ec_gakkai@nta.co.jp

営業時間: 平日 9:45~17:45 (土日祝休)

1.11 学生交流企画について

参加者同士の交流を促進するため、以下のような企画の実施を予定しています。

(1) クイズ大会「宮崎の魅力を伝えます」

(2) 参加学生の相互評価・順位予想

10月13日(日) 17:00~18:30 学生交流会 大ホール

豪華賞品も用意しておりますので、是非参加ください。

詳細については、別途ご案内します。

1.12 会場使用上の注意点について

付録1に会場案内図を添付します。ご参照ください。

飲食は、隣接した公園に飲食できるテントを準備しますのでそちらでお願いします。

なお、大ホール・中ホール・ホワイエ内での飲食は厳禁です。

- 指定場所で飲食する場合は椅子等を汚さないように注意願います。万が一、汚した際は、本部へ連絡願います。
- ゴミは必ず持ち帰ってください。

1.13 その他の注意事項

- テレビ・新聞・雑誌等の取材を受けた場合は、明るく活発な高専のイメージが出るよう、ご協力をお願いします。
- 本コンテストは、協賛いただいた企業やプロコン委員の先生方、主管校の教職員や学生等、多くの方々からのご支援を受けて開催されています。学生諸君は、感謝の気持ちを忘れないようにしてください。
- 参加学生の服装と身だしなみは、学生に相応しい清楚・質素なものとしてください。
- 貴重品は、身に付けるなどして各自で管理してください。
- プレゼンテーション会場、デモンストレーション会場、競技部門会場、開・閉会式会場では、必ずスマートフォン等はマナーモード等の着信音の出ない状態に設定してください。

1.14 問い合わせ先

本選実施要項及び本選に関する問い合わせは、必ず指導教員を介して下記へお願いします。

【問い合わせ】

全国高等専門学校第30回プログラミングコンテスト事務局

都城工業高等専門学校 学生課学生係 (担当: 米満)

〒885-8567 宮崎県都城市吉尾町 473-1

Tel: 0986-47-1136 / Fax: 0986-47-1143

E-mail: jimu30@procon.gr.jp

2. 課題・自由部門についての連絡事項

2.1 システムの搬入・搬出について

- システムの搬送方法については、参加登録の Web ページで案内した通りです。参加登録時にシステム搬送を申込みされた参加校は、8 月末までに各校からフリーダイヤル（0120-01-9625）へ連絡し最寄のヤマト運輸支店と搬送物品や搬送方法について事前に打ち合わせを行ってください。
- システム搬送にあたっては、同封した伝票を利用してください。不足する場合は、各チームで伝票をご用意いただき同じ宛先を記入してください。
- システム搬送中の破損事故を防止するため、担当業者と十分に相談してから、発送してください。梱包は依頼者側で行い、見易い位置に梱包識別票（3 箇所程度）を必ず貼付してください。
- 搬送物は業者によって、10 月 12 日（土）の夕方までにデモンストレーション会場である、MJ ホール 2 階大ホール・中ホールホワイエに搬入されます。参加チームは、搬入された物品の確認を、10 月 13 日（日）の 8:50 よりデモンストレーション会場で行ってください。なお、10 月 12 日（土）に開梱することは出来ません。
- 搬出については、10 月 14 日（月・祝）の 14:00～14:30 の間に梱包の上、同封した着払いの返送用伝票と梱包識別票を貼付して、撤収場所にて配送業者（ヤマト運輸）に引き渡してください。撤収場所は、「付録 1 会場案内図」をご覧ください。
- 梱包識別票は、proconapp.com からダウンロードできますので、ご利用ください。

2.2 プレゼンテーションについて

(1) プレゼンテーション審査の概要

- システムの特徴や有用性、制作上のポイントなどの口頭発表を審査します。
- 発表は一人で行うものとします。
- 1 テーマあたりの発表時間は 8 分とし、質疑応答を 4 分とします。
- 設置するプロジェクトで接続可能なコネクタは「HDMI」が使用可能です。なお、スクリーンは 1 面のみ利用可能です。スクリーンサイズは W2400 mm×H1800 mm (4:3) です。
- 10 月 12 日（土）夕方の受付時に接続確認を行うことができます。
- パソコン接続及び操作は、発表チームの学生が行ってください。
- プレゼンテーションツールを使用する場合はナレーションを入れることは認めません。必ず口頭で説明を行ってください。ただし、発表全体の構成上必要と思われる場合は、適切な効果音の使用は認めます。
- 発表順序は主催者側で厳正に抽選した結果、7 月 1 日（月）付で送付しました予選通過テーマ一覧のようになりましたのでご了承ください。

(2) プレゼンテーション審査のタイムテーブル

- 付録 3、付録 4 にプレゼンテーション審査のタイムテーブルを掲載しました。あくまでも目安時間ですので、進行状況に留意の上、遅れないように準備してください。

(3) プレゼンテーション審査についての注意事項

- 発表があるセッションが始まる前に、各発表者は会場で待機してください。また、担当者の指示に従ってパソコンを起動し、すぐに発表できる投影状態にして待機してください。
- 司会者に名前を呼ばれたら、登壇してください。
- 発表は 8 分、質疑応答は 4 分です。予鈴は 6 分で 1 鈴、8 分で 2 鈴、12 分で 3 鈴、終了です。発表の途中であっても、8 分を過ぎた時点で発表を打ち切り、直ちに質疑に移りますので注意してください。
- 審査委員の質問には、発表者だけが答えてください。

- ノートパソコンの操作要員として補助学生をつけても構いません。

2.3 デモンストレーションについて

(1) システム搬入チェック【10月13日(日) 8:50～9:20】

- 搬入された荷物は各ブースに置いてあります。
- 荷物の個数の確認と、外形上の損傷の有無を確認してください。

(2) システムセッティング【10月13日(日) 10:10～10:40, 10月14日(月・祝) 8:15～8:45】

- ブースの配置と展示スペースの概略寸法は付録5を参照してください。
- システムをセットする机の後ろには、掲示用パネルを用意します。このパネルにシステムの概要を示す概要説明図等を掲示してください。概要説明図の内容は自由ですが、システム名(タイトル名)を明示してください。なお、説明は一般の入場者にもわかりやすいように工夫してください。
- 各作品は、机や発表者の椅子なども含めて幅 180cm, 奥行 180cm, 高さ 200cm の範囲内にセッティングしてください。発表者もこの範囲内でデモを行ってください。なお、机は幅 180cm, 奥行は 45cm(机 1 台)または 90cm(机 2 台)です。標準は机 2 台としますが、システム等の調書で 0～2 台を選択することができ、椅子についても 0～2 脚を選択できます。
- 掲示用パネルは幅 180cm, 高さ 200cm(ただし、下 70cm は机を設置した場合には見えなくなるので注意が必要)です。掲示用パネルへの資料の固定にはセロハンテープおよび画鋲は使用できませんが、ガムテープ等の粘着性の強いものは使用できません。ポスターなどの掲示に必要な物品・道具は主催者側では用意しません。必要に応じて各チームで用意してください。
- システム搬入に使用した“段ボール箱など”は、机の下に置いてください。納めることができない場合には、大会スタッフの指示に従って、所定の置き場に整理・整頓して納めてください。なお、机の下に置く場合は来場者から見えないように工夫してください。白のテーブルクロスを主催者側で準備しますので、必要な場合は利用してください。
- ブースあたり 500W の電源を用意します。1 チーム 500W 程度に収まるよう、作品を工夫してください。消費電力過剰による停電等が起きた場合、全チームに迷惑をかける場合があります。500W を明らかに超える場合は、バッテリー電源等、自家電源を用意してください。万が一停電等が原因で、作品に異常が発生し、審査結果に影響を与えた場合でも、主催者側では責任が取れません。バッテリー駆動できないハードウェアがある場合は無停電電源装置を持参するなど、各チームで安全対策を取ってください。消費電力過剰が疑われるチームに対しては、運営側の判断で作品の電源投入を制限する場合があります。各ブースには、電源タップは 1 個口しかありません。必要に応じて別途電源タップを各チームで用意してください。
- システムセッティングのときに、システムの消費電力の計測を行う予定ですので、協力をお願いします。
- 今大会では、これまで提供していた各ブースへの有線によるインターネット接続は準備しません。また、フロア内に無線 LAN アクセスポイントも設置しません。そのため、インターネット接続を前提としたデモを行う場合は、各チームで通信回線を準備してください。なお、通信回線を準備した場合でも、ブースの場所によっては通信が不安定になる可能性があります。そのため、インターネットへ接続ができなくてもサンプルデータ等で動作するよう準備しておいてください。
- システムの最終調整とブース内の整理整頓を行い、システムの魅力が審査委員や来場者に伝わるようにしっかり準備してください。

(3) デモンストレーション一般公開【10月13日(日) 10:40～16:50, 10月14日(月・祝) 9:00～14:00】

- デモンストレーションは、学習や取り組みの成果を、学外の方々に公開する大きな意義があり、高専学生の熱気と創造性豊かなエネルギーを発表する場であることを十分に認識し実施してください。

- 一般入場者にも、親切に分かりやすく説明してください。各テーマに精通した方や全くの素人の方、年輩の方や子供さんの見学が予想されます。相手に応じた説明を心がけてください。
 - 一般公開は、プレゼンテーション審査、デモンストレーション審査及びマニュアル審査と並行して行います。
 - 各ブースでの審査時は、一般公開での説明などを中断してください。
 - 会場の各作品のブースには、説明者を常時2名以上配置してください。昼食などは交代で取り、説明者が不在とならないようにしてください。
 - 学生間はもちろん、協賛企業様などとの情報交換を積極的に行ってください。
- (4) デモンストレーション審査【10月14日(月・祝) 8:45~12:00】
- 審査委員は、グループに分かれ巡回審査します。審査委員が審査に来られたら、システムを実行させ操作しながら説明してください。また、審査委員の質問にも答えてください。
 - 審査時間は、説明時間が2分、質疑応答が5分、計7分を原則としますが、審査委員の指示にしたがってデモンストレーションを進めてください。
 - 審査対象は課題・自由部門の全ての作品です。
 - デモンストレーション審査は一般公開と並行して行われますが、審査を優先してください。審査には運営責任者としてプロコン委員1名がつきます。
- (5) マニュアル審査【10月14日(月・祝) 8:45~12:00】
- 提出した操作マニュアルどおりにシステムが動くかどうかのチェックを行います。
 - 作品の審査時間は、移動を含めた7分間です。
 - マニュアル審査は1名で行います。審査には運営責任者としてプロコン委員1名がつきます。
 - 審査対象は課題・自由部門の全作品です。
 - マニュアル審査も一般公開と並行して行われますが、審査を優先とします。
- (6) デモンストレーション審査、マニュアル審査のタイムテーブル
- 付録6にデモンストレーション審査、マニュアル審査のタイムテーブルを掲載しました。あくまでも目安時間ですので、進行状況に留意してください。
- (7) システムの搬出【10月14日(月・祝) 14:00~14:30】
- デモシステムを梱包し、返送伝票(着払い)および梱包識別票を貼付して、創作棟1階会議室1に搬入してください。
 - 梱包に必要な資材は参加者で準備してください。
 - 搬出のための梱包が完了した時点で、搬送業者に引き渡してください。
 - “ごみの持ち帰り”や“忘れ物”には特に注意してください。
 - 使用したブースの“後片付け”と“清掃”を実施してください。
 - “後片付け”と“清掃”が完了したら大会スタッフに連絡し、チェックを受けてください。
- (8) 学生インタビュー【10月14日(月・祝) 閉会式終了後】
- 閉会式終了後に各部門の入賞者はインタビューを行いますので、インタビュー会場に集合してください。インタビュー会場に関しては、当日、司会より連絡します。

2.4 本選審査手順について

I. 各審査委員における評定

1. プレゼンテーション審査: A, B, C の 3 段階評価をします。
独創性(最重要), システム開発の技術力(プログラムソースリストを含む), 記述力, 発表能力, 有用性等を総合して評価します。
2. デモンストレーション審査: A, B, C の 3 段階評価をします。
独創性(最重要), 技術力, 有用性, 操作性, 発表能力, 発表掲示, 完成度等を総合して評価します。
3. マニュアル審査: 正確性・記述力に関してそれぞれ 5 段階, 3 段階の評価をします。
正確性: A マニュアルどおりに動作する。
A' マニュアルどおりに動作するが, 説明を受けないと分かりにくい。
B 一部マニュアルどおりに動作しない。
B' マニュアルどおりに動作しない状態が何箇所かある。
C マニュアルとして不備が目立つ。
記述力: A, B, C の 3 段階評価(わかりやすさなど)

II. 選考の流れ

1. 評定一覧表の作成
一覧表に, 各審査委員からの評定(A, B, C 等)を入力します。
2. 点数換算集計表の作成
プレゼンテーション, デモンストレーションの審査評定は下記のように換算します。
A=6, B=3, C=1; 各部門, 審査委員の評定を合計します。
マニュアルの審査評定は下記のように換算します。
正確性に関しては, A=7, A' =5, B=3, B' =2, C=1
記述力に関しては, A=3, B=2, C=1
プレゼンテーション・デモンストレーション・マニュアルの評定を合計し総合得点とします。
3. 成績順位表の作成
総合得点の高い順にソートし, 順位を算出します。
4. 選考の順序
以下の順序に従い, 審査委員会で審議・合議の上, 判断します。
(i) 最優秀賞, 優秀賞
得点のみの情報を提示し, 上位ノミネートチーム数を決定する。審査委員ごとに, 上位ノミネートチームについて順位を投票用紙に記入する。上位票における審査委員数の獲得数で文部科学大臣賞(最優秀賞), 優秀賞を決定する(新增沢方式)。
(ii) 特別賞
(i) で最優秀, 優秀に選ばれなかったチームから, 課題部門・自由部門とも 4 チーム以内で選考する。
(iii) 佳作
佳作に該当する作品があるかどうか, 審議する。

※ 残りの作品は敢闘賞となる。

【参考】 新增沢式採点法 <https://ja.wikipedia.org/wiki/新增沢式採点法> (Wikipedia より)

3. 競技部門についての連絡事項

3.1 組み合わせ

ファーストステージの組み合わせは、審査委員に厳正にマジックナンバーを決めていただき、それを種としたコンピュータの擬似乱数により決定しました。決定した組み合わせは「付録 7 競技組み合わせ」の通りです。ファーストステージからセカンドステージに進出するチームの組合せは、ファーストステージ終了後に抽選によって決めます。

3.2 競技進行の概要

- 競技は、ファーストステージ、敗者復活戦、セカンドステージ、ファイナルステージにより行います。
- 予行演習・ファーストステージは 10 月 13 日(日)、敗者復活戦・セカンドステージ、ファイナルステージは 10 月 14 日(月・祝)に行います。
- 付録 7 の組み合わせにあるように、リーグは最大 4 チームで構成し、各リーグ全試合を同時に実施します。各チーム最大 3 チームと同時対戦します。
- リーグ戦では合計ポイントとタイトルポイントが等しい場合は引き分けとし、以下の優先順位で順位を決定します。
 1. 勝率が高いチームを上位とする (勝ち数/試合数)
 2. 当該チーム間の試合の勝率が高いチームを上位とする
 - 2-2. さらに当該チーム間の試合の勝率が高いチームを上位とする
 3. 当該チーム間の試合の得失点率の高いチームを上位とする
 4. 当該リーグ戦全試合の得失点率の高いチームを上位とする
 5. 主催者が指定する方法で上位を決定する

3.3 競技部門の賞

- ファイナルステージでの成績により、高専プロコン競技部門の優勝(文部科学大臣賞)、準優勝、第 3 位を決定します。
- 応募書類、提出書類及び競技内容から特別賞を選考します。選考方法は競技の順位によらず、アイデア・技術力・完成度をパンフレットに記載されたシステム概要を含めて評価するものです。

3.4 予行演習

競技に先立って以下の通り予行演習を行います。全チーム参加してください。

日時: 10 月 13 日(日) 10:10～

会場: 競技部門会場(中ホール)

予行演習は 1 試合 10 分程度での実施を予定しています。試合の流れを確認するための演習であり、試合終了までの流れを必ず確認してください。予行演習でのターン数は募集要項に示したものより、少なくします。

また、予行演習のスケジュール等は競技部門参加者連絡会議(10 月 13 日(日) 8:30～, 中ホール)で連絡します。全チーム必ず参加してください。

3.5 機材の搬送について

- 競技部門で利用する機材等を搬送する場合は、宿泊先ホテルを宛先としてください。会場へ直接送付しないでください。

3.6 注意事項

- 中ホール競技フィールドのテーブルには、電源コンセントを準備します。1 チーム当たり 500W 程度の利用を想定しています。容量を超えないよう注意してください。
- その他、今後の追加情報等については、随時プロコン公式サイトに掲載します。必ず確認するようにしてください。